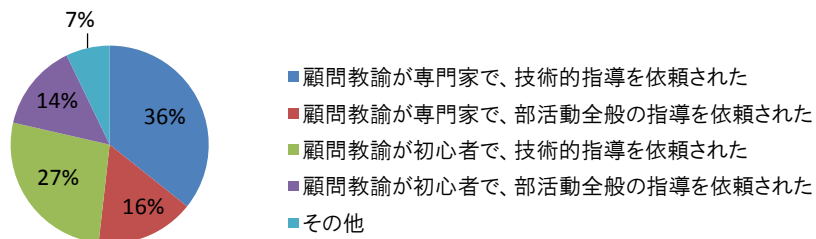
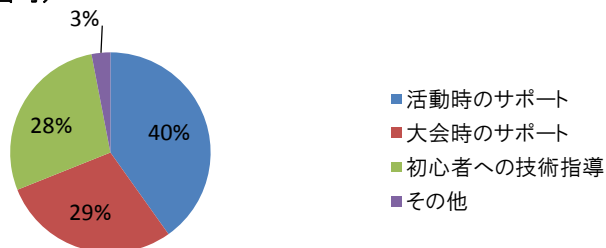


平成27年度 外部指導者アンケート

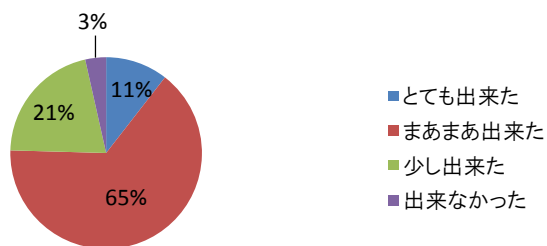
Q1.あなたは外部指導者として
学校からどのような指導を依頼されていますか？



Q2.今までにどのような指導を行ってきましたか？
(複数回答可)

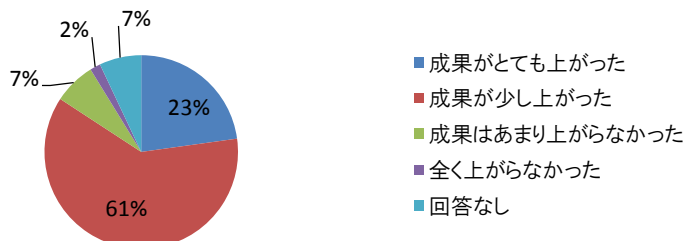


Q3.あなたは外部指導者として学校で部活動を指導する
上で、十分な指導が出来たと思いますか？

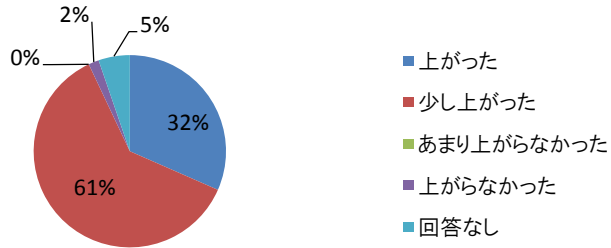


- ・ 技術面のみならず選手のメンタル面のサポートも出来たと思う
- ・ 選手一人一人に目が行くようになり、選手の技術向上にもつながる。また、練習メニューのバリエーションも増える
- ・ 学校の先生と違い生徒との接点が部活動のみに限られている為、深く指導が出来にくかったと感じた
- ・ 初指導だったこともあり、伝え方が分からず生徒にわかりやすい指導ができなかったと感じている
- ・ 主に土日祝日しか参加できず指導時間が十分でなかった

Q4.現在、部活動を指導している上で、
全体を通して成果(効果)が上がったと思いますか？

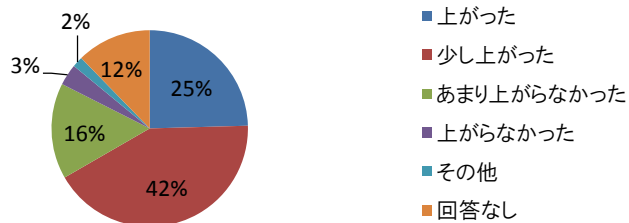


Q4.①技術・体力面について



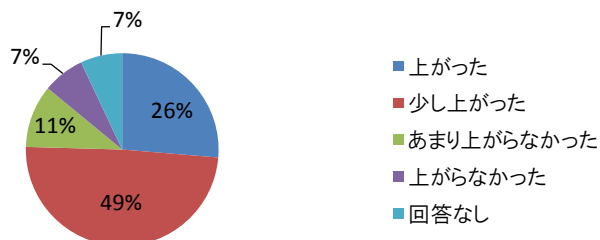
- ・ 全体的に技術の幅が広がった
- ・ 試合を通じて体力で負けることがなくなり、技術的にも全国レベルになった
- ・ 少しずつではあるが選手が今までできなかったことができつつある
- ・ 個に応じた指導により、全体がレベルアップにつながった
- ・ 限られた指導時間でどうしても技術を上げることのできた生徒とそうでない生徒がいる

Q4.②生活態度について



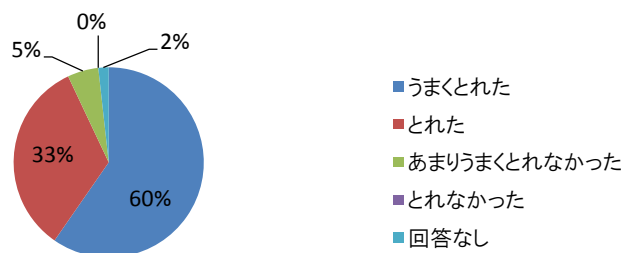
- ・ 集団行動、あいさつなど最低限だが、今までと比べると部活動らしくなった
- ・ 挨拶や礼儀がしっかり出来るようになった
- ・ 部活動の規律やしっきりとした挨拶をする自覚が出て来た
- ・ 何事にも積極的に取り組み、自信を持って行動するようになった
- ・ 週に行ける回数に限られているので、一部の選手にはできたが全員は難しかった

Q4.③大会実績について

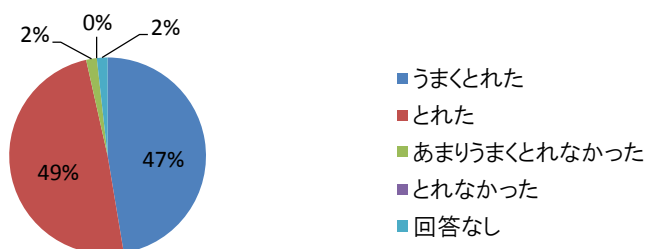


- ・ 試合での勝利数が増えた
- ・ 一回も外部試合で勝てなかった部員が勝った
- ・ 1回戦で敗れていた生徒も徐々に勝てるようになってきた
- ・ 練習通りのことができ記録がのびた
- ・ 徐々にではあるが上昇している。年度によって少々変わってくるが、県大会出場も増え、又それに近い生徒(部員)も出てきている

Q5.顧問教諭とコミュニケーションがとれましたか？

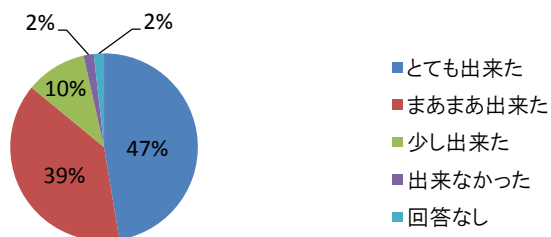


Q5.部員とコミュニケーションがとれましたか？



- ・ 顧問・部員と会話をし質問や指導しやすい雰囲気づくり
- ・ 練習の目的を説明し、指導に取り組んでいる
- ・ 部員と対個人会話を重視した
- ・ 練習前後、試合前後に必ずミーティングをしている
- ・ 指導する日数が少ない(一度指導した後、時間が空く)のでなかなか思うようにいかず

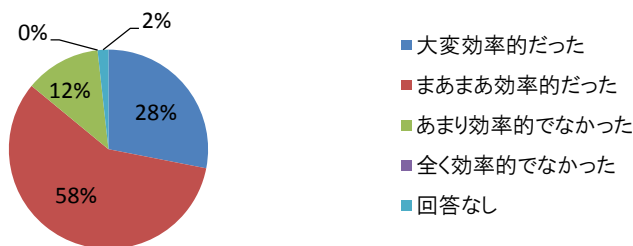
Q6.顧問教諭と連携を図り、指導することが出来ましたか？



- ・ 全てにおいて任されているが、決定することは相談し毎回役割を決めている
- ・ 情報共有がしっかりできた
- ・ 日々生徒の課題を共有し、課題改善を一つずつ行っている
- ・ パート別(ポジション)に教えることで、より専門的な指導ができた
- ・ 生徒に技術の指導をする前に顧問と話し、食い違いのないようにした

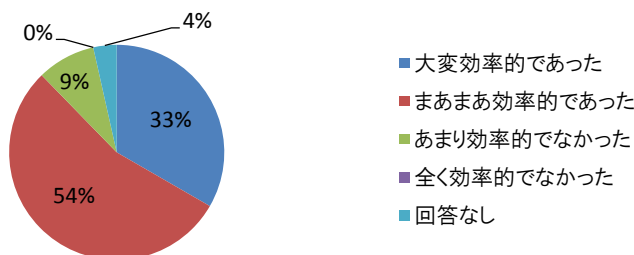
Q7.あなたが指導に加わることで、
効率的になったと感じることについて教えてください。

①時間的側面について



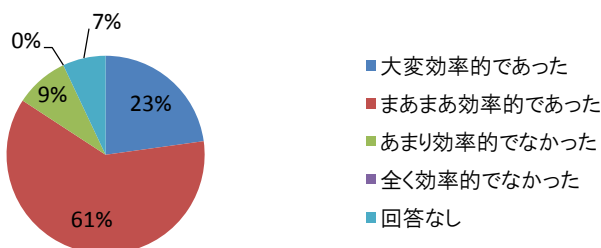
- ・ 全体で行えるメニューを考えて選手全員を平等に見ること
- ・ 役割分担もしたので、練習自体はスムーズに行えた
- ・ 準備(アップ)から練習メニューと時間のスケジュールまでを管理する事で、効率化を図れた
- ・ 練習メニューを考えてのぞんだので練習時間内でムダな時間はなかった
- ・ 指導の説明が長かったりしてしまったため練習時間がのびてしまった

Q7.②技術的側面について



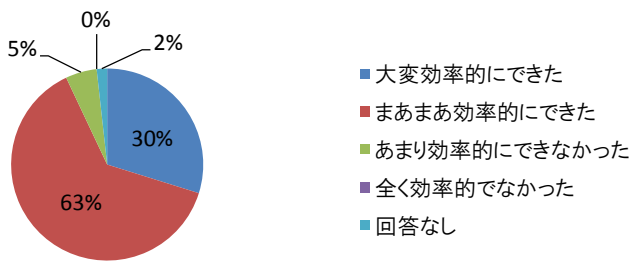
- ・ 色々な視点や見方によって指導できるため効率は上がったと思う
- ・ 練習や試合をビデオ撮影し、部員の長所・短所を視覚から理解させ技術向上に効果的だった
- ・ 自分も現役である事から、自分のクラブチームの仲間を部活に同行させることで、指導効率も上がった
- ・ 同じ学年、同じ人と毎日練習せず、色々なタイプと練習する事により対応能力が上がり、底上げにも繋がった
- ・ 指導する目が増えることにより、より細かい指導ができた

Q7.③指導的側面について



- ・ 一つ方法を教えるのではなく、その子のもっとも速く上達する方法で個別に教える様に努力している
- ・ どこを修正すればいいのか顧問と相談しながら指導ができた
- ・ 部員の短所を直すのではなく、長所を伸ばす指導にした事で部員が自信に満ちてきた
- ・ 見れることが多いわけではなかったためゆっくりと時間をかけるしかできなかった
- ・ 学年やレベルによってすべての選手に指導がいきわたらなかつたと思われる

Q8.あなたが外部指導者として部活動に携わることで、
その部の顧問が効率的に部活動を運営出来たと思いますか？



Q9. あなたは外部指導者としてどのようなことを特にポイントとして指導すべきだと思いますか？
また、顧問教諭に期待したいところはどのようなことですか？

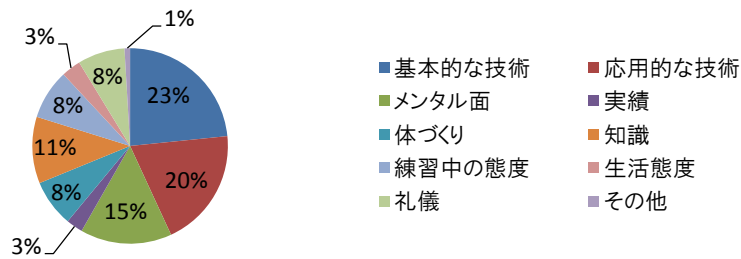
- ・ 部活動は人間形成の場だと思うので、社会に出ても通用するあいさつ、生活態度、規律ある行動に対する指導は行うべき。その上で、競技の楽しさを知り、技術向上をはかり、良い成績をおさめることを目標にしていきたい
- ・ 選手と歳が近いこともあり、やはりメンタル面を特にサポートすることを心掛けた。悩みも解決することで、練習に集中できる環境作り、そこから技術的指導を行うことで、技術力向上も効果的に図れるようにした
- ・ 部活を通して、この先社会人になるにあたっての指導もしつつ、勝つ喜びやきびしさを教えていきたい
- ・ 主に顧問の先生が生活態度や道徳的なことを教えて頂いているので、外部指導者として、より技術的なことを高いレベルで指導し、結果を残すことで、生徒の自信であったり喜び、充実感を感じてもらえるようなれたらと思う
- ・ 技術指導は確実に行った方が良くと思う。指導者によっては精神面ばかり指導する方もいると思うので、それでは近い目標を達成するのはハードルが高いと思う

Q10. 学校や指導者間で共有した方がいい課題や意見

- ・ 勝利至上主義の排除、あくまでも教育の一環としてのスポーツ
- ・ 他校の指導者がどの様に指導を行っているか情報の共有を図って行きたい
- ・ 部活動に対する学校方針、及びどの程度の成果を求めているのか等
- ・ 目指す目標を掲げる
- ・ 指導の方向性を定める
- ・ 外部指導者としての立場(責任)、時間に対するお金。学校が外部指導者に求めることと部活(生徒)が求めること、顧問の先生が求めることが違う
- ・ 生徒に響く怒り方、問題とならないような怒り方、注意の仕方考えた方がいい。近年の部活動では先生がなかなか生徒に対して注意をすることができていないように感じる
- ・ 顧問の先生が部活動にどのくらい関わられるか疑問。顧問と外部指導者同席のこと。決められている様だが、顧問の先生方が多忙で実質的には無理
- ・ チームとしての目標共有、目指す方向性や方法などは共有したい

平成27年度 部活動顧問アンケート

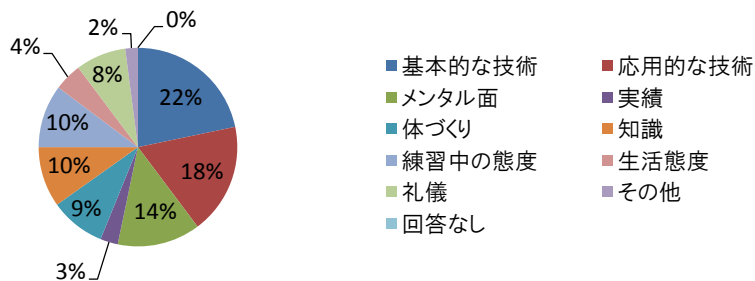
Q1.外部指導者には、どのような事を指導して欲しいと思っていましたか？(複数回答可)



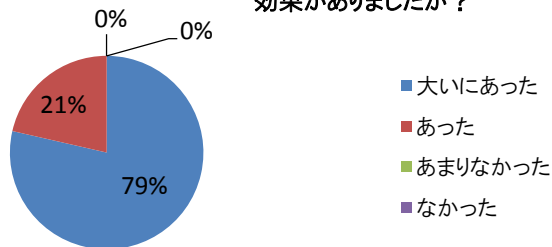
Q2. 外部指導者に一番指導して欲しかったことはどのような事でしたか？

- ・ 体力づくりのノウハウ、顧問の価値観に偏ることのない指導(技術面、精神面)
- ・ 基本的な技術を習得するための練習及び試合における精神面の強化
- ・ 専門ポジションの指導
- ・ 生徒のレベルにあった技術指導
- ・ 安全に競技をするための技術の習得、自分が経験したことのないポジションの技術指導及び知識

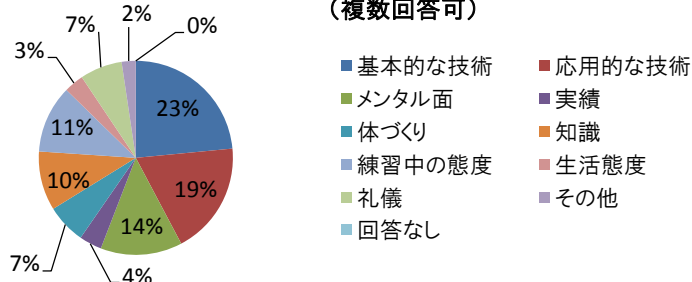
Q3.実際、外部指導者にどのような事を指導していただきましたか？(複数回答可)



Q4.外部指導者に指導していただくことにより、効果がありましたか？



Q5.具体的にどのような点で効果がありましたか？(複数回答可)

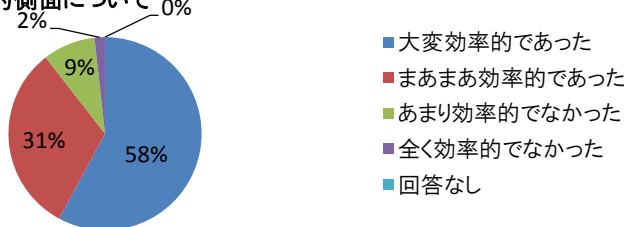


Q6. 一番効果があったことを教えてください。

- ・ 体力づくりの方法を理解し、また実践する機会を多く持ち、故障や怪我をする生徒が減少した
- ・ 気持ちの部分(メンタル面)での成長がうかがえた
- ・ プレーのスピードとパワーが格段に向上し、上位校と十分に戦えるようになった
- ・ 個々への対応を細かくしていただき、課題や練習する内容がはっきりしたこと
- ・ 自分とは違う視点から基本技術を指導してくれた

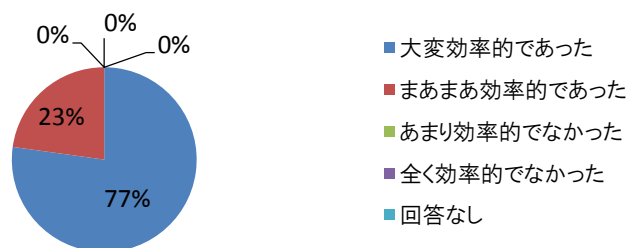
Q7.外部指導者に来ていただくことにより、効率的に部活動ができましたか？

①時間的側面について



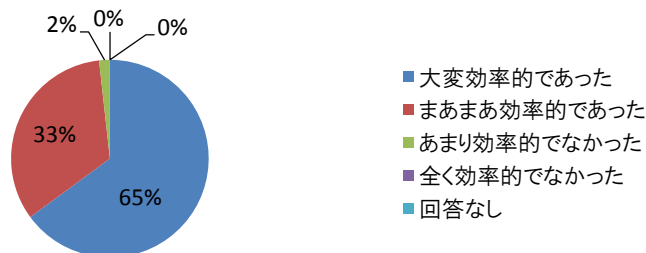
- ・ コート数が少ないので、能率よく行うことができた
- ・ 短時間で密度の濃い練習メニューを組んでいただいた
- ・ 人出が増えたことで、戦型別練習や個別指導の時間を増やすことができた
- ・ 選手をポジション別でグループ分けし、少人数グループで指導ができた
- ・ 指導者の仕事もあり、一回に2時間程度という時間的な縛りが厳しい

Q7.②技術的側面について



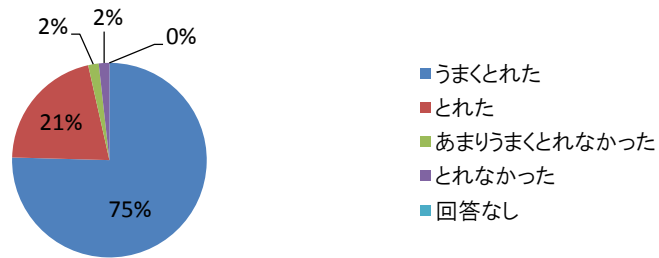
- ・ 顧問とは違った視点で指導してもらい、技術を向上させた生徒が多かった
- ・ 個々の技術レベルに合わせた課題を与えていただいた
- ・ 顧問以外の指導者からのアドバイスも効果大きい
- ・ ただ技を覚えるのではなく時代背景や由来なども交え、記憶に残りやすい指導をしてくださった
- ・ 共通理解を持ち生徒に指導したため、技術の向上が図れた

Q7.③指導的側面

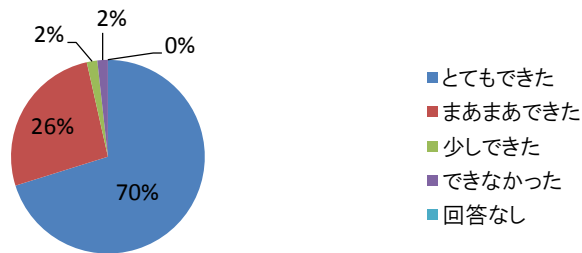


- ・ 指導者がポジションごとに分かれ、じっくりと指導をすることができた
- ・ 社会人としての心構えなどの指導・助言があった
- ・ 生徒全員に目が行き届くようになり、練習が活発になった
- ・ 長年の経験を生かした指導をしてくださっている
- ・ 部員数が多く一人ひとりに接しきれない事が多かった

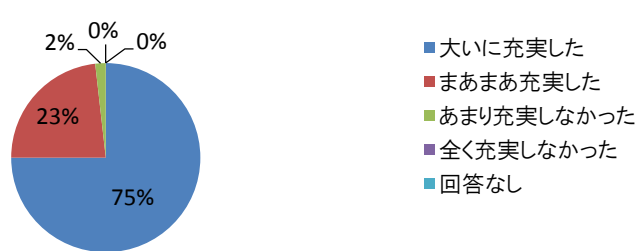
Q8.外部指導者とコミュニケーションがとれましたか？



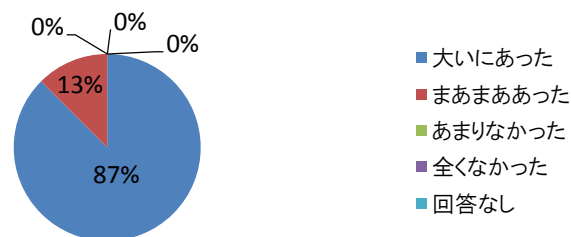
Q9.外部指導者と連携を図り、指導することができましたか？



Q10.外部指導者を活用することによって、部活動は充実したと思いますか？



Q11.外部指導者を活用することによって、生徒たちにとって良い影響があったと思いますか？



Q12.外部指導者を活用することによって生徒たちにとって一番良かった点

- ・ いろいろな人からの指導を受け、価値観を広げることができたこと。認めてもらえる機会が増えたこと
- ・ 違った視点で指導を受けることで、生徒が生徒自身と向き合えるように成長した点
- ・ 専門的な指導を受けられるという安心感が最も大きかった
- ・ 外部指導者から出される課題の克服に向け、生徒が互いに話し合いながら積極的に活動することが増えた
- ・ 全国レベルの技術やメンタル面の指導法をとりにくかったわかりやすい指導、教員以外の社会人や年上の人との交流
- ・ 生徒全員に指導が行き渡り、部活動が活性化され、一人一人の技術が向上した

Q12.外部指導者を活用することによって生徒たちにとって悪かった点

- ・ 外部指導者がいない時に、モチベーションを維持するのが難しい
- ・ 毎日、来校することができなかった点
- ・ 自ら考えるようになった反面、自分勝手な判断をする場面もみられた
- ・ 特定の生徒が頼りにしすぎる場面があった
- ・ 時間にルーズになりがちだった
- ・ 外部指導者が来校しない日は緊張感が薄れる傾向があった

Q13.外部指導者と一緒に指導する上で、注意した事を教えてください。

- ・ 複数の指導者からの指示であるため、指導に矛盾が生じないように気をつけた
- ・ 外部指導者の指導を顧問が常に把握できるように常に注意していた
- ・ 日々の生徒の個人情報に配慮しつつ学校生活での成績や体調面などを理解してもらい、指導にあたっていただいた
- ・ 外部指導者とのコミュニケーションを大切にし、指導の一貫性を保つようにした
- ・ 主に技術指導を外部指導者が担当し、顧問は主に生活指導を担当するなど互いの領域に入り込みすぎないようにした
- ・ 練習の意図や技術面の考え方などをはっきりと伝えて同じ目線(方向)で指導にあたること

Q14.外部指導者と一緒に指導する上で、学んだこと

- ・ 競技の指導や体力づくりに関することだけでなく、生徒との接し方や声掛けなど、参考にしたいと思うことが多くあった
- ・ 教員の立場でなく企業人としての姿勢や心構えなどは大いに参考になった
- ・ 声掛けをマメにし、変化を見逃さないこと
- ・ 外部指導者のもつノウハウを学ぶことができ、それを練習に活かすことができた
- ・ 生徒とのコミュニケーションを大切にし、一人ひとりの課題などを的確に見出し、対応している点が勉強になる
- ・ 1つの考えに固定されないで柔軟に物事を吸収することで視野が広くなり、結果として効率の良い指導につながるということ

Q15.外部指導者と一緒に指導する上で、困ったこと

- ・ 外部指導者が関係する地域の大会に必ず参加しなければならなかったこと
- ・ 外部指導者に対して、どこまでお願いや要求をすれば良いかという線引きや、お互いの指導観の共有に苦労した
- ・ 部活動運営において、生徒の個人情報に関することをどこまで共有してよいものか、悩んだことがあった
- ・ 顧問と外部指導者の考え方や方針、意識のズレがあると非常にやりにくい事があった
- ・ 遠征等の際、交通費の御負担が大きいこと
- ・ こちらの希望する指導が得られなかった指導者(外部)がいた事

Q16.昨年と比較し、良かった点、悪かった点(昨年度から外部指導者を活用している学校のみ)

- ・ 昨年の反省をいかして取り組めたので、内容が充実した
- ・ 生徒の技術面での向上が見られ、積極性が出て来た
- ・ 1人外部指導員を増やしていただき、男女別の活動への対応や戦型別の指導に幅が広がった点よかった
- ・ 継続して指導を行い、インターハイに出場することができた
- ・ 部員との絆が深まり、チームの輪に貢献してくれた
- ・ 日頃の練習だけでなく、練習試合や大会などにも多く来て頂き、色々な角度から、見て頂いており、継続した選手育成ができる点